



第19回 全国浄土宗青年会全国大会

第27期 活動テーマ

頌彼佛願故

～本願に導かれて～

南無阿弥陀仏

時下 会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より全国浄土宗青年会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

「天下和順～平和への想いを新たに～」と大会テーマを掲げ、法然上人が日常の安寧と万人救済のためにお示しくださった“選択本願念佛”という唯一不変の答えの継承と明日へと繋ぐ平和への思いを、宗内外の様々な視点からご講義を頂戴いたします。

久方ぶりの現地開催です。どうぞ奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

第27期全国浄土宗青年会理事長 寺井 孝導

中四国地区浄土宗青年会理事長 財津 宏経

令和5年 8月29日(火)

◆ 講義会場

広島国際会議場 ホールダリア

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5

◆ 懇親会

ANAクラウンプラザホテル広島

〒730-0037 広島県広島市中区中町7-20

◆ 申込締切日 **7月20日(木)**

◆ 参加費 **15,000円**(懇親会費込)

◆ 申込方法

所属教区浄青事務局取りまとめの上、参加費(15,000円)を添えて大会事務局までお申し込みください。

8月20日(日)以降のキャンセルは、全額ご負担となります。

◆ 服装

ネクタイ着用の上、道衣(改良服)または伝道服(洋式道衣)、浄青袈裟、日課念珠

◆ 宿泊

宿泊は各自ご手配いただきますようお願い申し上げます。

◆ タイムスケジュール

10:30～11:30 受付

11:30～12:00 開会式

12:00～12:15 休憩

12:15～13:15 講義① 鵜飼秀徳先生

13:15～13:30 休憩

13:30～14:30 講義② 堂畝紘子先生

14:30～14:45 休憩

14:45～15:45 講義③ 嘉陽礼文先生

15:45～16:00 休憩

16:00～17:00 講義④ 渡部陽一先生

17:00～17:20 閉会式

17:30～18:00 広島平和都市記念碑参拝

19:30～21:30 懇親会

※オンライン開催はございません。

主催:全国浄土宗青年会 後援:浄土宗/浄土宗広島教区 特別協力:株式会社仏光社

担当:中四国地区浄土宗青年会/浄土宗広島教区青年会

お問い合わせ先:第19回全国浄土宗青年会全国大会事務局 TEL 080-6323-3398

〒726-0003 広島県府中市元町623 金龍寺内 別所慈博 Mail hirosima.0829@gmail.com

天下和順

～平和への想いを新たに～

講義① 12:15～13:15



「仏教が戦争にどうかかわったか」

うかい しゅうとく

講師 **鵜飼 秀徳** 作家・ジャーナリスト／浄土宗正覚寺住職／大正大学招聘教授

京都・嵯峨の正覚寺に生まれる。大学卒業後、新聞記者・雑誌編集者に。オウム真理教事件、東日本大震災、チェルノブイリ原子力発電所、北方領土など国内外の多くの取材現場に足を運ぶ。2018年に独立。2021年に正覚寺住職に。主に「宗教と社会」をテーマに取材、執筆、講演などを続ける。近年は、企業や大学などと連携し、「寺院再生を通じた地方創生」に携わる。著書に『寺院消滅』（日経 BP）、『仏教抹殺』『仏教の大東亜戦争』（いずれも文春新書）など多数。大正大学招聘教授。一般社団法人良いお寺研究会代表理事。

講義② 13:30～14:30



「生きて、繋いで -被爆三世の家族写真-」 撮影・展示活動について

どううね ひろこ

講師 **堂畝 紘子** 写真家

1982年広島市生まれ。高校卒業と同時に写真を始め、太平洋戦争の国内戦跡の記録撮影を続けている。都内のスタジオでデジタル撮影を学んだ後、美学校岡山校 銀塩写真講座上級課程を修了。アナログ作品は、モノクロ銀塩写真にこだわり、撮影から自宅暗室での現像・プリントまでを一貫して自身で行う。2013年出張撮影サービス「こはる写真館」を開業。2015年「被爆三世の家族写真」撮影・展示活動を開始。また、非営利の市民活動グループ「被爆三世・四世プロジェクト これからの私たちは」を主宰。被爆三世・四世の世代（被爆三世・四世に限らない）を中心に、被爆者の実体験を直接聞くことができる最後の世代として、その記憶をどう受け継ぎ、次の世代になにを伝えていくか、自分たちに出来ることを考えるためのきっかけ作りの活動を行っている。

講義③ 14:45～15:45



「原爆被害の実相とは、その記憶の継承の手法とは」

かよう れぶん

講師 **嘉陽 礼文** 広島大学原爆瓦発送之会OB会会長

1978年4月22日生まれ。広島大学原爆瓦発送之会OB会会長。(株) イヅミ消火器、(株) マツダ、田島海事法務事務所、広島大学原爆放射線医科学研究所を経て2023年3月まで広島大学国際室研究員。原爆・戦争の記憶の継承をテーマに2002年より被爆建物の破片採取、被爆者への聞き取り調査、原爆死没者への慰霊等を実施している。

講義④ 16:00～17:00



「渡部陽一が考える平和 -ウクライナ取材を通して見えてきたもの-」

わたなべ よういち

講師 **渡部 陽一** 戦場カメラマン／フォトジャーナリスト

1972年9月1日、静岡県富士市生まれ。静岡県立富士高等学校 明治学院大学法学部卒業。戦争の悲劇とそこで生活する民の生きた声を体験し、世界の人々に伝えるジャーナリスト。世界情勢の流れのその瞬間に現場で取材を続けている。取材は戦争が起こっている国々の家族模様や子どもたちの生活を中心とし、住民たちと共に長期にわたり生活し暮らしていくことで次第に見せてくれる「ありのままの表情や生の声」を大切におこなっている。講演会では、戦場で生活している人々の家族の絆や、取材を通じて見えてきた人間が持つ愛の深さ、命の大切さ、生きることの素晴らしさなど、普段ニュースで見ている戦場とは異なる一面を実際の写真とともに伝えていく。